

船舶事故調査報告書

令和4年9月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	不明（令和3年5月14日 06時00分ごろ～16時05分ごろ）
発生場所	不明（兵庫県東播磨港から同県赤穂市赤穂港の間）
事故の概要	引船第3神好丸は、起重機船のえい航作業中、障害物に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和3年6月7日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	引船 第3神好丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	132436、寄神建設株式会社
乗組員等に関する情報	船長、五級（航海）
負傷者	なし
損傷	左舷外板に亀裂及びビルジキールに欠損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、東播磨港別府地区から赤穂港の工場専用岸壁へ起重機船をえい航した。</p> <p>本船は、えい航後、次の作業に備えて東播磨港別府地区にて係船中、停泊用発電機が突然停止したので、乗組員が確認したところ、同発電機用の燃料油サービスタンクに海水が浸入していた。</p> <p>本船は、修理のため、阪神港神戸区に入港したところ、船外に燃料油が流出していたので、潜水士による調査の結果、左舷外板に約20mの亀裂及びビルジキールの欠損等が確認された。</p> <p>船長及び乗組員は、起重機船のえい航作業後、東播磨港まで乗り揚げたような衝撃を感じておらず、支障なく航行していたので、損傷状況からえい航作業中に何か尖ったものに乗揚げたのではないかと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、起重機船のえい航作業中、船長が、進路上に存在する障害物に気付かないまま航行を続けたことにより乗り揚げた可能性が考えられる。</p> <p>本船が乗揚に至った状況については、乗揚に気付いた乗組員がいないことから、明らかにすることができなかった。</p>
原因	本事故は、本船が、起重機船のえい航作業中、船長が、進路上に存在する障害物に気付かないまま航行を続けたことにより乗り揚げた可能性が考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、えい航作業を行う海域における障害物の有無を確認して作業を行うこと。 |
|--|---|